



遠藤ひろし

地域振興と県政発展

県会議員 遠藤浩の信条は、「地域の振興は、県政発展の基礎。」直面する課題解決に対して真摯に取り組んでいます。歴史に学び、先人を敬う政治は、新たな課題に対しても柔軟な対応をいたします。

山梨県議会基本条例 第20条2項の規定に基づき発行しています。

いあいさつ

市川三郷町にお住いの皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

9月定例会県議会は、先月21日から10月5日までの会期で開催されました。市川三郷町民会館などの解体費3億5千万円余りが県の予算として計上され、いよいよ、新設高校の整備が動き出しました。

従来の学校のイメージを払拭する斬新さと、峡南地域の歴史・伝統・文化を豊富に取り入れ県内初となる単位制・総合制高校として地域の教育環境整備に取り組んで参ります。

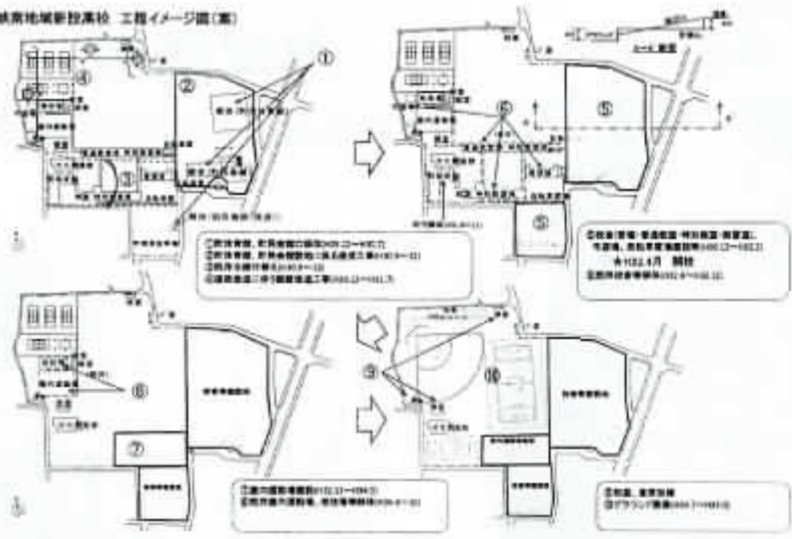
地域の振興は県政発展の基礎。「地域振興と県政発展」が達成できますよう取り組んで参りますので、今後ともご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。



●平成32年4月の開校に向け解体される市川三郷町民体育館、図書館、町民会館などと市川高校。

新設高校建設と町の施設整備について

新設高校の建設費約40億円は、県費で賄われます。県も町も法律に基づきお互い不利益にならないよう協議を重ね、最小限の支出で効率的な工程を導き出しました。町の施設の建設は、特別に延長された「合併特例債」(95%充当、70%後年交付税算入)の有利な事業債を活用し県も町も財政に極力影響しないよう推進しています。



県教委による地域説明会で示された
新設高校建設の行程イメージ

年度	学校準備等	施設整備等
29	8月 峡南5町において小・中学生の保護者や地域住民対象の説明会	5月 用地測量完了 7月 設計業者選定(プロポーザル方式) 8月 設計業務開始 2月 基本設計案を提示
30	8月 峡南5町において小・中学生の保護者や地域住民対象の説明会	8月 詳細設計完了 9月～12月 新校舎の建設着工
31	6月 校名決定 6～8月 中学生への学校説明会	2月 新校舎完成 3月 引越し作業等
32	4月 開校 新設高1年生入学 市川高校2、3年生は新校舎利用 増穂高、峡南2、3年生は現校舎利用	6月 市川高旧校舎解体開始(～H32.12) 12月 新屋内運動場の完成
33	4月 増穂高、市川、峡南各校3年生は新校舎利用(学校一本化) 3月 増穂高、市川高、峡南高閉校	(増穂高、峡南高旧校舎解体工事) 3月 新屋内運動場の完成
34		6～10月 旧屋内運動場の解体 7～3月 グラウンド整備(全整備完了)

新設高校設置

毎年、一クラス程度高校の生徒数が減少している県内の現状で、新設高校の建設は慎重に進めるべき事業です。県内初、市町村の垣根を超えた高校の再編整備は、県議会の同志、町及び教育関係者など多くの関係者のご努力により成し遂げた成果だと思えます。全国に誇れる新設高校の建設に向け全力で取り組みます。



第1回市川三郷町高校再編整備検討委員会 (平成26年9月)



会派県民クラブ(当時)による市川高校調査 (平成26年8月)



市川高校100周年記念式典(平成26年11月)



検討委員会による県教委への要望活動 (平成26年10月)



市川高校聖蹟館で開かれた県教委による地域説明会(平成27年9月)



新設高校を核とした町づくりを県教委へ提案 (平成29年6月)



新設高校の建設を県議会に表明する後藤知事 (平成28年9月)



9月定例県議会

●6月定例県議会本会議(遠藤浩一般質問のようす。(平成29年6月県議会議場))

注目の事業

未来へ向けての予算

- 総合球技場基本計画策定費
- 「リニア環境未来都市」整備事業費
- 地域医療介護総合確保基金積立金
- 峡南地域単位制・総合制高校建設事業費

県民福祉向上への予算

- ボランティア・NPO活動推進指針策定事業費
- 地域女性活躍推進事業費補助金
- 性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター事業費
- 民間保育士等処遇改善推進事業費
- やまなし子ども子育て支援条例普及啓発事業費

活性化に向けての予算

- 産業振興方針策定事業費
- 産業集積促進助成金
- 安全登山推進事業費

9月定例県議会は「山梨県登山の安全確保に関する条例」の制定、46億円余りの一般会計補正予算、平成28年度の決算の認定など42件が提出され審議しました。

補正予算の主な内容は、総合球技場基本計画策定費、「リニア環境未来都市」整備事業費、峡南地域単位制・総合制高校建設事業費など大きな事業への推進。ボランティア・NPO活動推進指針策定事業費、など県民福祉向上事業。地域女性活躍推進事業費補助金、などの活性化策が盛り込まれ活発な議論が行われました。

総務委員会では、「総合球技場検討費」「リニア中央新幹地域活性化事業費」などの議論が中心となりました。大きな事業を進めるステップとして重要性を認識した議論が交わされました。

また、平成28年度決算の認定について、特別委員会が設置され遠藤浩議員は委員となりました。

総務委員会



●総務委員会 委員会審査のようす。(平成29年6月県議会委員会室)



富山グランドプラザの取り組みは、好事例として紹介されています。



総務委員会で調査した富山グランドプラザ



富山グランドプラザは、ユニークな発想により大きな成果を上げています。



商店街の賑わい創出のための「金曜どうでしょう」(平成29年8月 中央駐車場)



春蘭の里を立ち上げたキーマン多田理事長との意見交換



春蘭の里-農家民宿-

雄大な里山を堪能できる農家民宿



農家民宿「春蘭の里」のイメージ(ホームページより)



富山グランドプラザは、出版物になる程の成功事例で、豊富なアイデアによる賑わい創出イベントが高い稼働率を成し遂げています。

甲府北口広場やリニア駅周辺の賑わい創出に活用できるばかりか六郷インター周辺や商店街の賑わい創出にも応用できる事例です。

農家民宿「春蘭の里」では、創設者多田理事長と意見交換を行い、「苦労された点などを伺いました。山村を農家民宿集落に発展させた人物で、5年の歳月をかけ賛同者の合意形成を行ったとの事です。

県外調査

県議会総務委員会では、人口問題対策や地域の活性化など地方創生の先進事例について現地に赴き実際に取り組んだコアメンバーとの意見交換を行いました。

人口問題対策



県営富士見団地、完成予想図。



建設中の県営富士見団地(平成29年9月)

県営団地 生産年齢人口拡大に期待

日本全体が少子高齢化・人口減少へと進む中、人口増加への道則は厳しい現実です。住宅政策により生産年齢人口の増加を期待する。また、地域の魅力を引き出し交流人口を拡大する。この取り組みの一つが、平成31年3月完成予定の富士見県営団地の建て替えです。今後は、中部横断道開通の効果を引き出すため、六郷インターの周辺整備やリニア開通の沿線効果も含め、「みたまの湯」周辺の整備が交流人口拡大の切り札です。

交通拠点 交い岩間



市川三郷町出身者が描くJR甲斐岩間駅周辺イメージ



甲斐岩間駅と六郷インターの結節点は、交流の拠点としての開発に期待が高まります。

眺望空間 みはらしの丘



2027年に開通が予定されているリニア中央新幹線の眺望空間としても期待されます。



「みたまの湯」周辺のみはらしの丘は、県内でも屈指の眺望空間です。

未来に向けての交流拠点整備
交流人口拡大に期待



映南地区河川清掃
(平成29年7月 青洲公園)



リニア新幹線南アルプストーンネル工事を調査
(平成29年8月 早川非常口トンネル)



神明の花火大会
(平成29年8月 花火会場)



住みよいい県土建設表彰式
(平成29年9月 ベルクラシック甲府)



人口問題対策の取り組みを調査
(平成29年9月 富山県庁)



日本航空学園の建学と私学振興の現状についてを調査
(平成29年9月 日本航空学園石川校舎)



自殺防止推進大会
(平成29年9月 県立文学館)



県人会交流パーティー
(平成29年9月 アビオ甲府)



市川大門地区敬老会
(平成29年9月 町民会館)



秋の交通安全出発式
中央は青山県警本部長
(平成29年9月 県庁)



夏の巡回ラジオ体操が行われた町民体育館で1200人の皆さんと体操をしました。

誕生秘話 「ひいくんのあるく町」

「ひいくんのあるく町」の発想は被災地での「ふるさと教育」が切っ掛けとなりました。



議員活動

ラジオ体操